松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト2019 入選プラン一覧

ビジネス活用部門

ビジネス活用部門 氏名・団体名 (応募順・敬称略)	ビジネスプランの名称	ビジネスプランの概要
システムアトリエ ブルーオメガ	カードリーダーによる定期運行バス の乗客利用状況リアルタイム監視 とデータ収集	地方のコミュニティバスや保育園などの送迎バスにおいて、だれがいつどこから乗車したのかを記録し、バスの利用状況を把握するためのシステム提供がビジネスプランです。 地方で運行されているコミュニティバスはあまり活用されていません。 保育園などの送迎バスは、送迎の保護者の待ち時間が多く発生しています。 このシステムの導入により、利用状況を正しく把握し、より良いバスの運行に役立てるとともに、バスの位置情報を外部に発信することで、利用者の待ち時間を減らすことができます。 対価は、バスの事業者より利用料として頂きます。
吉田 利幸	テストバンク	子どもたちの学習のつまづきを、学校で実施してきたテスト結果をデータで蓄積することで分析します。 子どもの保護者からサービス利用料として4,900円/年の対価を得るプランです。 子どもが自分の学力をグラフなどで可視化できることで勉強のやる気を引き出します。
真法 哲也	footprint	スマートシティのインフラストラクチャーとしてIoTによるセンサーネットワークを構成し、町からの情報発信源として機能します。 このセンサーにより町の様々な課題(福祉、観光、交通等)の解決手段を提供します。 センサーの設置は行政と企業により行い、利用料はその利用内容により決定します。
佐藤 公治	みんなの基板屋さん	気軽に自作の基板キットを販売するECサイトです。 弊社からは購入者に基板だけを発送し、部品は他社で自動購入できるようにします。 このシステムにより基板製作者は部品を在庫として持たず、基板製造費だけを負担することで作品を 世に出すことができます。 購入者のシステム利用料を主な収入とするビジネスモデルです。

松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト2019 入選プラン一覧

学生部門

学生部门 氏名・団体名 (応募順・敬称略)	ビジネスプランの名称	ビジネスプランの概要
OhMochi(おもち) (松江工業高等専門学校)	ひらがなおえほん	小さな子供がいる親の、子供に文字を覚えさせたいという悩みを解決してくれるアプリです。単語の 虫食いになっている部分を埋めることで、その単語に応じて物語が絵本やアニメーションのように進 んでいきます。文字入力はスマホ画面に手で文字を書くことで行い、物語はテレビに映します。様々 な物語を販売することで収入を得ます。
Team-HogeHoge(チーム ホゲホゲ) (松江工業高等専門学校)	RobotWorld	操縦者は君だ!私たち「Team-HogeHoge」はロボットが大好きな人たちのためのビジネスプランを考案しました。私たちはARとVRを融合した新感覚アトラクションを提供します。ブロックで小さいワールドを構成し、その中でロボットを操縦し、あたかもアニメの世界観を味わえるだけでなく戦闘することも可能です。もちろんロボット好き以外にもアニメが好きな方にも楽しんでいただけます。
KLAB(クラブ) (島根大学)	EquipShare	有名アーティストを始め、プロのアーティストがどのような機材を用いて楽曲制作活動をしているのかをまとめるサイト。 それぞれの機材にはAmazon等の販売サイトのアフィリエイトリンクを適用することで収益を得るビジネスモデル。
山本 崇人(ヤマモトタツト) (庚午中学校)		Clapp!は、主に中高生を対象とした、プロジェクトの仲間探しを支援するWebサービスです。 従来型のサービスとは異なり、チャットツール等への橋渡しをすることで、プロジェクトへの参加を簡単にします。
出雲商業高校	CLATCH(クラッチ)	行事、情報の伝達を円滑化するための学校情報管理システム。 学校全体の時間割、行事、年間カレンダーなどの共有、クラス単位の情報の表示やチャット機能、その日の運勢を見る機能を有します。 生徒と教員間で情報を共有でき、教員が情報を生徒に伝える手間、生徒が時間割変更をしに行く手間が省け、チャット機能などをつけることで、生徒と教員間の距離を縮めることができます。 学校からの対価を得るシステム。
アルパカ (浜田商業高校)	SHISHU	海外や日本国内の人々の普段着る服に、石見神楽で使用されている美しい金糸刺繍を施すことを 受け付けるサービス、窓口。